

上田まさや 活動報告

まさやレポート ～新人議員日記～

1
VOL.



始めに…。

この度、初当選し、刈谷市議会議員になりました上田まさやです。初めての事ばかりで、緊張の毎日ですが、市民の皆さんと一緒に、良い刈谷市になる為に、全力で頑張っていきます。また、初めての経験がいっぱいの議員の活動を含め、定期的に「上田まさや」の活動を皆さんに知って頂くために、定期的にこのまさやレポートを発行して行きたいと思っております。よろしくお祈りします。

刈谷市民の声

「刈谷」に対する様々な疑問、
上田まさやが応えます！！

Q 給食に対する放射能の安全性は大丈夫ですか？

A 危機管理課の話では水の検査では刈谷市は安全でした。
給食センターに話を聞きに行きました。
牛肉に対してはオーストラリア産を使っているそうです。
米は愛知県産を使用、野菜も安全なものを使っているそうです。

まさや考察 今、福島を中心に食に対する不安が広がっています。特に心配されるのは子供に対する食の安全性です。自治体によっては独自の放射能の基準を設けたり、給食の放射線量を量る所もあります。

補助制度について

環境に配慮した「まちづくり」を推進する刈谷市では、エコカー購入者を対象とする独自の補助制度があります。

- 補助金の額
購入1台につき10万円
- 対象車種
ハイブリット自動車
電気自動車
天然ガス自動車

お問い合わせ先 刈谷市役所環境課
0566-62-1017

定例議会

9月の定例会議において、以下の一般質問をしました。

- ①子育て支援について
- ③自殺対策について
- ②結婚支援について

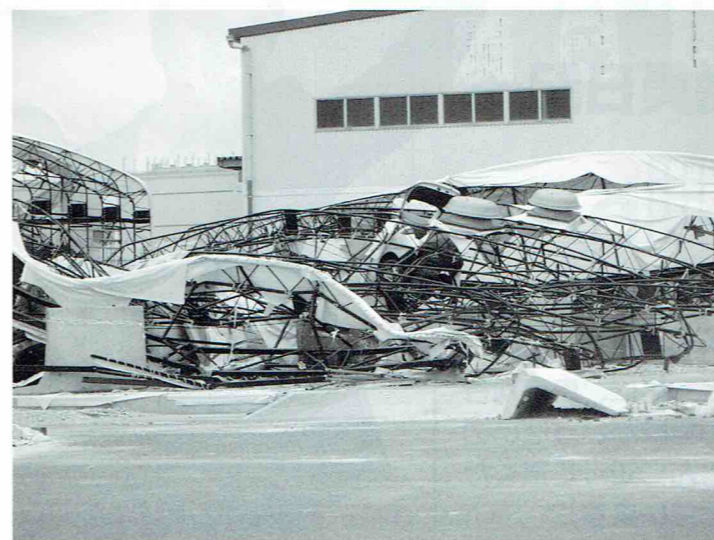
質問の映像は<http://www.gikai-tv.jp/dvl-kariya/2.html>で見られます。

まさや考察 この10年間、刈谷市では平均すると毎月2人の方が自殺されています。一般的に住みやすいと言われている刈谷市でも毎月尊い命が失われているのです。年間の交通事故死の方より自殺者の方の数ははるかに多いというのが刈谷市の現状です。日本という国を見ても年間3万人以上の方が13年間連続で自殺しているというのは異常なことだと思います。人の命が一番大切な国を支えるのも人です。ですから自殺対策をしなければなりません。自殺を減らすということは難しい取り組みです。自殺の原因は多様で借金、うつ、いじめ、病気など個人によって違いますが、まず「うつ対策」を行政、企業、地域などあらゆる側面から対応しなければならないと考えます。

東北復興支援活動について

現地レポート (9月中旬宮城県山元町にて)

9月の中旬に宮城県、山元町に被災地ボランティアに行ってきました。まだまだ、復興には時間が掛りそうです。ボランティアさんは各地から来てくれています。まだまだ、人手不足でなかなかスピード上がらないそうです。しかし、復興に確実に一歩ずつ進んでいることも今回のボランティアで感じ、また、人と人が繋がることの大切さを痛感しました。



海沿いの工場の様子。



処分待ちのごみがたくさんあります。



全国から来ているボランティアの方々です。

ボランティア団体「バンドエイド」さん

被災地にボランティアに行きたい方、物資を送りたい方はご連絡下さい。今回お世話になった「バンドエイド」という団体をご紹介したいと思います。復興にはまだまだ、時間が掛りますが、皆さんの思いやりが一番の力になるはず。自分自身も一度被災地に行きたいと思っております。

バンドエイドURL <http://bandaid-japan.com/>



津波を被った住宅の土を土のうに詰めています。

まさや考察 テレビで報道されている被災地の現状と実際に自分の目で確かめた被災地の現状はうまく言葉で表現出来ませんが、その場、空間、匂いなど体感すると同じ日本人として何かしなければならぬという思いにかられました。また、現地の方々にお話を聞くと、地震の一週間前から海の方から「ゴーゴー」という今まで聴いたことのない音がしていたとか、海沿いにある小学校でもっと災害の時にどうするかを決めていればたくさんの子供達の命が助かったという話を聞いたりしました。こう言う貴重なお話を刈谷の防災に生かしたいと思っております。



上田まさや 事務所 〒448-0027 刈谷市相生町2-7(徳広分店隣)

お問い合わせはこちらまで E-Mail masaya_ueda70@ybb.ne.jp

YahooとYouTubeで 上田まさや

検索

